

令和6年3月12日

高校魅力化推進室	
担当者	山磨・山本
内線番号	4863・4866
直通番号	086-226-7578

お知らせ

令和7年度岡山県立高等学校入学者選抜における全国募集実施校についてこのことについて、次のとおり、お知らせします。

記

1 学校・科（括弧は令和6年度募集定員）

学校名	全国募集を実施する科
玉島商業高校	ビジネス情報科(160)
笠岡工業高校	電子機械科(40)、電気情報科(40)、環境土木科(40)
笠岡商業高校	ビジネス情報科(120)
井原高校	普通科(120)、地域生活科(40)
高梁城南高校	電気科(40)、デザイン科(35)、環境科学科(40)
新見高校	普通科(80)、生物生産科(30)、工業技術科(35)
勝山高校	普通科(160)
蒜山校地	普通科(40)
真庭高校	看護科(40)
林野高校	普通科(120)
鴨方高校	総合学科(120)
和気閑谷高校	普通科(80)、キャリア探求科(40)
矢掛高校	普通科(80)、地域ビジネス科(40)

2 教育内容等

	目指す教育 特色ある教育活動等
玉島商業高校	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域との連携」— 特別活動、体験・奉仕活動の重視 ・「豊かな人間性の涵養」— 社会・対人関係能力の育成 ・「プロフェッショナルの養成」— 高度資格の取得推進 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・2年次から、自らの興味・関心に応じた4つのコースの設定（「会計金融」、「情報通信」、「物流販売」、「普通教科選択」） ・高校周辺に広がる、歴史的な背景を持つ商店街や商工会議所との連携「街ごとキャンパス」をスローガンとした街ぐるみの学習の実践（地域との連携） ・月1回開催される地元の朝市等への出店、学校商品開発、地元の方等との交流を通じた学習（地域との連携、豊かな人間性の涵養） ・地元企業とコラボレーションした商品開発や地域活性化への貢献活動等、高校における学びの実践（地域との連携、プロフェッショナルの養成） ・公民館と連携した学習や商工会議所と連携した学び、または地元の祭りへの参加や地元の方等との交流を通じた生徒の活躍の場として、地域と一体化した活動（地域との連携、豊かな人間性の養成、プロフェッショナルの養成）
笠岡工業高校	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な学力と教養を身に付けるとともに、豊かな専門的知識や技術技能を有する人材の育成 ・社会人としてのマナーや確かな職業観・勤労観を持ち、意欲的で我慢強さや責任感を身に付けた人材の育成 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・笠岡コンソーシアムによる地域の一体化、活性化、地域との協働 ・地域連携による「笠工テクノ工房」を中心とした課題解決型学習(PBL)の実践 ・地元自治体や企業との連携による全員参加型のインターンシップや延べ5日間におよぶ工場等見学に代表される系統立てたキャリア教育の充実、国公立大学進学にも対応した教育課程ときめ細かい進学指導 ・検定や資格取得の推進（機械製図、電気工事士、危険物取扱者、2級土木施工管理技術検定、技能士等） ・最先端の技術を活用した5軸マシニングセンタによる実習、信号機などの自動制御実習、ドローン測量実習等 ・全国大会（インターハイ、国民スポーツ大会、全国ものづくりコンテスト等）上位入賞を誇るウエイトリフティング部、レスリング部、機械工作部、電気工作部、土木研究部

目指す教育 特色ある教育活動等	
笠岡商業校	<ul style="list-style-type: none"> ・ Society5.0の社会を見据え、ICT（情報通信技術）の活用により、地域と連携し地域資源を活用した教育活動を行うことで、5つの力（つながる力、考える力、創造する力、地域を愛する力（心）、人のために動ける力）を備えた、地域の持続的発展を担う人材を育成 ・ 教育活動を通じて地域の魅力を感じるとともに、ビジネスの課題と向き合い、課題解決に向けた実践的な活動やICTの活用を行うことにより、地域のビジネスリーダーや職場のIT（情報技術）リーダーとして活躍できる人材を育成 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 笠岡コンソーシアム事業による地域の一体化、活性化、地域との協働 ・ 日本遺産に認定された笠岡諸島（白石島）で、清掃活動や様々なアクティビティを体験 ・ 総合的な探究の時間（ゆうかりタイム）で、地域と連携した探究活動（笠岡駅周辺のフィールドワーク等）を通じて、課題解決型学習を実践し、地域の活性化を担う活動を実施 ・ 笠岡諸島等の観光ガイド、地元企業とコラボした商品開発に取り組み、地域の活性化を担う活動の展開 ・ ICTの活用による課題発見や探究活動への取り組みにビッグデータ（RESAS等）を活用した市場調査、その成果を活用した各種コンテストへの参加、電子開示システム（EDINET等）を活用した企業経営分析、画像編集ソフト等を活用したポスターや地元を題材としたPR動画、Webページ等の制作の実施 ・ 笠岡駅前イルミネーション制作、清掃活動、親子ふれあい教室、スマホスクール等の地域行事への参加、積極的なボランティア活動の実施 ・ 二大行事（文化祭・体育祭）を中心に行事を通じて、生徒の自主性や人間性を育む指導と生徒会活動を中心としたリーダーシップを育む指導の推進
井原高校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普通・地域生活の2科がそれぞれの特徴を生かし、海外留学やインターンシップ等によるグローバルな学びを実践し、地域の活性化に貢献する人材の育成 ・ 地域資源と風土を生かした繊維産業（世界的に有名なデニムの産地）や果樹栽培をはじめとする地域産業を担い、地域社会の持続的発展に資する人材の育成 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 難関国公立大学進学から就職にいたる多様な進路目標への対応を可能にする3つの類型の設置と丁寧できめ細かい進路指導（普通科） ・ 園芸、家政の学びを継承・発展させる2つのコース（グリーンライフ・ヒューマンライフ）の設置と、地域連携活動等を通じた実践的な学習（地域生活科） ・ 地域の人的資源を活用し、地域に学び、地域の課題解決に取り組む学校設定科目「地域探究」（普通科）と「地域生活」（地域生活科） ・ 地元特産のデニムを題材とし、井原市の地域ブランド創出の取組との連携を基に、綿花・藍の栽培、縫製、商品開発、マーケティング等の探究学習に取り組む「デニム学」 ・ 行政・市体操協会等と強固な連携体制を敷き、「新体操のまち 井原」として、地域クラブでのジュニア世代の育成や地元大学の新体操部創設による小中高大の一貫した体制を整え、全国大会で優秀な成績を収める男子新体操部（全国大会優勝：団体12回、個人総合5回）
高梁城南校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との連携を重視した取組を行うとともに、電気・デザイン・環境科学の学科を越えた学習活動の連携を行い、それぞれの高い専門性を生かして地域の課題・発見・解決を図ることで地方創生を担う人財を育成する ・ 基礎・基本を重視し、個に応じた教育を推進するとともに、ものづくりや体験的・実践的学習を通じて、創造的で豊かな人間性を培う教育を実践し、地域に必要とされる人財を育成する <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3Dプリンターやレーザー加工機を駆使した全国レベルのロボットづくりやロボットアームを用いた実践的な制御実習、進路を意識した資格取得とインターンシップ（電気科） ・ 絵の具によるポスターやイラスト制作、液晶ペンタブレットをつけたiMacを利用したアニメやイラスト制作、37台のiMacと3Dプリンターを備えたパソコン室を活用したデジタルデザイン、レーザー加工機や木工所レベルの加工機械設備を使った幅広い創作活動（デザイン科） ・ 自然環境と社会環境の視点から持続可能な社会の実現を目指した学び、高校生カフェ運営や保育・福祉実習等、地域に根ざした実践的な学習活動、スマート農業（遠隔・自動制御システム）を導入した施設栽培（環境科学科）

	目 指 す 教 育 特色ある教育活動等
新 見 高 校	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく判断し主体的に行動できる、心身が健康で人間性豊かな生徒の育成 ・幅広い知識・教養と進路実現に必要な学力を身に付け、社会の変化に柔軟に対応できる生徒の育成 ・高度な知識・技能と望ましい勤労観・職業観を身に付け、将来のスペシャリストとなりうる生徒の育成 ・高度情報化社会で活躍するための基礎的・基本的なスキルを身に付けた生徒の育成 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・学科の特色を生かした主体的な学びによる幅広い知識や確かな技能の習得と、一人ひとりの進路実現に向けた細やかな支援 ・新見公立大学と連携した学び ・幅広い選択科目から進路と適性に応じて選択することのできる教育課程による学習活動と資格取得、多彩な講師を招いた進路学習・講演会、企業見学、インターンシップ等によるキャリア教育の推進 ・各科（普通科・生物生産科・工業技術科）の強みを生かした小中学校への出前授業や放課後学習支援、地域との交流活動 ・中国大会や全国大会出場を誇る男子ソフトボール部 平成23～27年度・令和2～5年度インターハイ出場（令和3年度、令和4年度準優勝） 平成30～令和5年度全国選抜大会出場
勝 山 高 校	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学ぶ意欲を持ち、確かな知識や技術を身につけた人材の育成 ・他者と協働して社会の発展に貢献できる人材の育成 ・よりよい社会人となるための思考力・判断力・行動力を備えた人材の育成 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・学力や進路に合わせた習熟度別・少人数授業の実施 ・難関大学進学から就職まで、様々な進路希望に対応する多くの選択科目の展開（表現力やコミュニケーション能力、情報活用能力などの向上に焦点を当てた独自の授業も選択可能） ・生徒の自立や主体的な活動を重視し、担任、教科担当や部活動顧問による面談を通じた細やかな個別の教科・進路指導 ・SDGsをベースにした地元真庭市の取り組みに焦点を当てた授業や、フィールドワークを通して、地域理解を深め課題解決能力を養う、総合的な探究の時間＝『夢現プロジェクト』の実施 ・学校からの連絡や、教科の学習を効果的に行う他、生徒同士における情報や互いの考えを共有したりするなど、授業や部活動におけるChromebookの積極的な活用
勝 山 高 校 校 地	<ul style="list-style-type: none"> ・学校設定教科「CP」（Community building Project）を中心に、様々な教育活動でICTを活用し、多様な「他者」と共に学び合い育ち合う ・様々な課題を解決しようとする中で、今までになかった新たな価値を創造し、持続可能な社会の主体的構成者として、自ら学び、考え、行動することができる人物を育成する <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・地元中学生（連携型中高一貫教育における進学者等）、全国募集、リスタート希望者（不登校経験者など）など、多様な「他者」と共に学び合い育ち合う教育を実施する ・小規模のメリットを活かし、小、中学校でつまづきを抱えた生徒に対しても、一人ひとりに合った教育を実施し、自信を持たせ自ら進路を切り開いていく教育を展開する ・学校設定教科において就業体験や提案型インターンシップを実施し、豊かな自然に囲まれた蒜山地域に軸足を置きながら、多様な地域課題を解決するための考察を深める ・全員の参加するインターシップや、スキー、馬術、クライミングなどのアウトドアスポーツの体験、野外活動などでの豊かな自然との関わりを通して、スポーツの楽しさや仲間との協力の大切さを学ぶ学習活動を実施する ・真庭市や地域連携組織（蒜山校地を応援する会）の支援により、地域教育活動の中核として学び合い育ち合いの時間と空間を提供する ・地元の乗馬クラブでの馬術競技活動及び馬術大会等への出場（第57回全日本高等学校馬術競技大会（インターハイ）団体3位、第34回全日本高等学校馬術選手権大会第1位） ・校内ICT環境（Wi-Fi完備・遠くの学校や研究機関などとのやりとりができる遠隔教育システム等）や、1人1台のタブレットを活用した授業を実施する

	目指す教育 特色ある教育活動等
真庭高校	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化に対応でき、心身ともに健康で、高い志を持ち、「看護のこころ」を背景に、広範囲な知識と技術を持つ看護師の育成 ・課題解決能力やコミュニケーション能力、倫理的視点に立った判断能力を養い、地域医療に貢献できる人材の育成 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師としての専門的・実践的な知識・技術・態度を習得できる5年一貫教育 ・地元医師会、看護協会の全面的な協力による、医師、看護師等による専門性の高い授業 ・病院、訪問看護ステーション、こども園など、地域の医療機関や福祉施設と連携した実習 ・看護臨床指導者、臨床工学技士などの指導による多職種連携演習 ・最先端のシナリオシミュレーションシステムや5学年間の異学年交流学习等による多様な学び
林野高校	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を培う普通科高校として、進路指導の充実に加え、地域等との連携やPBL（課題解決型学習）、ICT（情報通信技術）、国際交流といった主体性を高める教育活動を通じて、社会で活躍し、その発展に貢献できる人材の育成 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・特別進学類型では、5教科を中心とした大学進学に特化した学習を行うことで、大学へチャレンジする生徒を支援 ・総合探究類型では、フードデザイン・栄養、福祉、スポーツ、簿記、観光ビジネスなどの様々な科目選択を通して、個々に応じた最適な学習を進めることで進路実現を細かく支援 ・3年の進路指導では、総合型選抜や学校推薦型選抜、高い教科学力を必要とする入試に向けて、専門性に応じて全教員を生徒個別に振り分け、個別最適で丁寧な指導を実践 ・Google事例校やJAET（日本教育工学協会）優良校に認定されているICT先進校として、授業、学校行事、生徒会活動、部活動など学校活動のあらゆる場面で、生徒がICTを活用する教育環境が充実 ・姉妹校（台湾2校）との放課後のオンライン交流や修学旅行による対面の生徒間交流、海外留学を通して、グローバルな視野を持ち、新たな価値を発見する力や協働する力を育成 ・総合的な探究の時間「マイドリームプロジェクト」では3年間の継続的な探究活動により、深い学びを实践 ・学校設定教科「みまさか学」では、地域と連携して、地域の課題解決や活性化を担う活動を展開 ・近隣の小中学校と授業や学習支援、部活動を通じた交流や地域の諸行事でのボランティア体験を推進
鴨方高校	<ul style="list-style-type: none"> ・時代の変化に対応して社会に貢献できる人材の育成 ・品格や礼節を尊び、心身ともに健康で明るく生き生きとした人材の育成 ・「自分の生き方は自分で決める」ことができる人材の育成 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・総合学科の特徴（4系列9モデル）を活かした教育課程の充実ににより、多様な進路希望に応じた授業を展開 ・基礎的な学力を育成する全員対象の終礼時の10分間学習、希望者対象の発展的な学力を育成する平日特別補習など、基礎から発展まで、幅広く進学や就職に対応した学習指導 ・少人数授業や習熟度別授業、ティーム・ティーチングの実施による、一人一人に目が行き届く、きめ細やかな学習指導の実施 ・「地域に学び、地域に貢献」を目標に、地域連携・協働等による体験活動を重視したキャリア教育の実施
和気閑谷高校	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識・教養を身に付け、自身の成長を目指し、何事にも挑み続ける生徒の育成 ・探究心を持ち、持続可能な地域社会の実現に向け積極的に行動できる生徒の育成 ・「恕」（思いやり）の心を持ち、自分と他者の良さを認め、互いに高め合える生徒の育成 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・1人1台端末活用先進校として、ICTによる個別最適で協働的な学びの推進 ・地域の課題を発見し、解決に取り組む探究学習「閑谷学」 ・年間を通して、地域の事業所での就業体験等に取り組む「地域協働探究」（学校設定教科・科目） ・姉妹校との国際交流（オンラインを含む）や、ユネスコスクールとしてSDGsの目標達成に向けたグローバルな活動 ・地域行事への参加や小中学校での学習支援などに継続的に取り組む社会貢献活動 ・毎朝の論語朗読、論語手帳の活用など、「論語」を生かし、日常生活から自己の在り方生き方を考える活動

	目 指 す 教 育 特色ある教育活動等
矢 掛 高 校	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携による教育活動が特色で、「地域を学びのフィールド」とした体験的な学びや課題解決型学習によって、生徒の自立する力、探究する力、協働する力を伸ばす教育 ・生徒個々の伸びるポイントを丁寧に把握し、一人ひとりの可能性を親身になって伸ばす教育 ・地域連携の推進を通じて、多くの地域の方々と出会うことにより、生徒の課題解決力、発信力、人間関係形成力を生き生きと伸ばす教育 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・小中高12年間の切れ目ない学びを提唱する矢掛町において、「地域を学びのフィールド」ととらえ、地域と密接に連携する教育活動 ・岡山大学をはじめとする国公立大学への合格を目指した丁寧な授業と様々なコンテスト等で発表する機会が充実しており、総合型・学校推薦型選抜でも強みとなる課題解決型学習（普通科探究コース） ・子ども園や小学校、福祉施設など14の実習先での1年間の継続した地域実習を通して、多様な他者と協働しながら未来を切り開いていく力を伸ばす地域探究活動「やかげ学」（普通科総合コース） ・地域の特産品を生かした商品開発から販売を行う、地元企業と連携した地域実習や、多くの検定取得を目指せるカリキュラム（地域ビジネス科） ・自らが取り組みたい課題を設定し、問題解決力や発信力を培う「やってみようプロジェクト（1年次）」 ・顕著な部活動等 全国高校生ボランティアアワード出場、岡山県高校軟式野球大会準優勝及び東中国大会出場、中国高校囲碁選手権大会出場

1 募集人員

全国募集の募集人員は、科ごとに設定するものとし、科の第1学年募集定員の10%を超えない範囲において、高等学校長が県教育委員会の承認を得て設定する。ただし、第1学年募集定員が40人未満の科及び過去3年間の平均で、学校全体の募集定員の10%以上の欠員数を生じている学校については、科ごとに第1学年募集定員の20%を超えない範囲において、高等学校長が県教育委員会の承認を得て設定する。

なお、県内及び全国募集の合格者の合計は、募集定員に募集定員の10%を加えた数を上限とする。

※令和7年度入学者選抜における募集定員は10月に公表予定。

4 全国募集を実施する入学者選抜

特別入学者選抜(令和7年2月実施)及び一般入学者選抜(令和7年3月実施)

5 その他

その他必要な事項は、別途、令和7年度岡山県立高等学校入学者選抜実施大要及び実施要項に示す。

なお、令和7年度岡山県立高等学校入学者選抜における全国募集に係る情報については、岡山県教育庁高校教育課高校魅力化推進室ホームページ (<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/348/>) に掲載。